

新年のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL072-533-5555 FAX072-533-5555

み光に照らされて、新年を迎えることができます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十年最初のご案内を申し上げます。

がん たん え

元旦会

日時 一月 一日(祝) 昼一時

講師 本願寺中央講師



足利孝之師

■「一年の計は元旦にあり」。阿弥陀様の御前で、新年を迎える私の心を見つめたいものです。お屠蘇進上。今年も福引を行います。お楽しみに。

■足利先生、兵庫県尼崎市、安養寺住職。教誨師として多くの死刑囚を看取られたご経験から阿弥陀様のお慈悲について分かりやすく熱くお話下さいます。

■朝十時より、修正会(しゅじょうえ)。上野門徒の皆さま、各世帯代表者一名ずつのご参拝をいただきます。

年の暮となりました。一年経つことの速さを実感しています。

明年元旦、お世話になります。まだ、呆けてはいないようです。

(中略) 一月九日で八十七歳になります。

同期生二五〇名の中、生きておるのは、二十二名です。

バイクで走っているのは私一人。

やがて事故死と新聞に出るかもしれません。お大事にご越年下さい。

合掌

— 安養寺・足利孝之師より —

「仏法には明日と申すことあるまじく候ふ。仏法のことはいそげいそげと仰せられ候ふなり。』蓮如上人御一代記聞書』

有縁の皆さま、当山「元旦会」に急ぎ、ご参拝ください。

西本願寺御正忌報恩講

親鸞聖人、750の回忌にあたる御正忌報恩講が9日速夜(たいや)から16日の満日中(まん)にちゅう)まで7昼夜、28座にわたり本山・御影堂で営まれます。

親鸞聖人のご祥月(しよつつき)命日を縁に営まれる本願寺最大の年中行事です。期間中、全国から僧侶・門信徒が多数参拝し、聖人のご遺徳を偲ぶとともに、浄土真宗の信者として自覚を新たにします。

住職は1月13日(土)午後2時からの速夜法要に参拝する予定です。ご参拝にあたり費用は特にかかりませんが、御佛飯料の進納にご協力ください。朝6時からお晨朝、10時から日中法要、昼2時から速夜法要、いずれに直接お越しになっても構いません。前々日(11日)まで「一報く」だされば、記念品がいただけます。

※万一の場合は、住職携帯まで (090-1071-4881)

毎月28日、昼2時OPENINGカフェ



石川欣也先生の
 法話のダイヤル 0743-53-4488

年忌表 (平成三十年)

一	周	忌	平成二十九年
三	回	忌	平成二十八年
七	回	忌	平成二十四年
七	回	忌	平成十八年
七	回	忌	平成十四年
三	回	忌	平成六年
三	回	忌	昭和六十一年
五	回	忌	昭和四十四年
五	回	忌	大正八年

平成三十年は、上の年に亡くなった方々の年忌に当たります。盛大であるに越したことはありませんが、ささやかでも、真心のこもった法要(法事)を勤めたいものです。

法要は、命日に勤めることが理想ですが、都合で、日・月・年が前後にずれられる場合があっても構いません。

法要を勤めるにあたっては、まず日程を住職にご相談ください。日取りが決まったら、親戚知人にも通知を出し、前日までにお仏壇をきれいに掃除し、お供物やお花、お香などを買い替え、心をこめて準備いたしましょう。

そのほか、ご不明な点は何なりと住職までお尋ねください。(西福寺：072-622-3725)

※左の点線部分で切り取って『真宗教団連合平成30年法語カレンダー』の台紙に貼ってご活用下さい。
 ※早い！きれいな！エコ！寺報メール便のお申し込みは、こちらまで sai-fukujii@runbini.com

二月のご案内

〒567-0012
TEL 075-2575555 FAX 075-2575555
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗
本願寺派 西福寺

椿の花の鮮烈な赤色は、春の訪れを強く希求しているようです。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十年二月のご案内を申し上げます。

第二百六十八回

人生講座

日時 二月十一日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使



松村秀方師

■松村(まつむら)先生、四十九歳。東大阪市足代北、明専寺住職。元浄土真宗本願寺派総長、松村了昌師のご子息です。布教使課程の同期ですが、深い学識とともに、人を惹きつける語り口で、明るい気持ちで聴聞することが出来ます。

■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

●ご本尊は本山よりお迎えしましょう

浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来です。ご本尊には、阿弥陀如来の「絵像」(住職推奨)、もしくは「木像」、または「六字名号」の3種類があります。掛け方は、ご本尊を中央に、向かって右側に十字名号(帰命尽十方無碍光如来)、左側に九字名号(南無不可思議光如来)を掛けます。または、中央にご本尊、右側に親鸞聖人の御影、左側に蓮如上人の御影を掛けます(住職推奨)。本山(西本願寺)竜虎殿の参拝教化部に、冥加金をそえて申し込みます。実費で住職がお取り次ぎいたしますので、ご相談下さい。なお本山から下付されるお掛け軸にはご門主(現在は二十五世専如上人)の押印があります。

【参考】三十代(たて約27センチ・よこ約9センチ)

金襴：3万5千円・桐：2万5千円・藤：1万5千円(それぞれ1幅あたり)
※その他のお掛け軸の冥加金については住職までお尋ね下さい。

以和貴会演奏会

海神への供物 I

～住吉大社と天王寺楽所

平成30年3月6日(火)

18:30 開演 17:30 開場

フェスティバルホール



江戸期以降、住吉大社で舞われる舞楽は天王寺舞楽でした。現代でも、毎年卯の月の卯の日に催される「卯之葉神事奉納舞楽」と中秋の名月に催される「観月祭奉納舞楽」を天王寺楽所が奉納しており、住吉大社は四天王寺以外に天王寺舞楽を鑑賞できる貴重な場なのです。特に「卯之葉神事奉納舞楽」は重要文化財である住吉大社石舞台(豊臣秀頼寄贈)で演じられ、四天王寺の石舞台(重要文化財)、嚴島神社の高舞台(国宝)とともに日本三大舞台と言われています。是非フェスティバルホールにお運びいただいて、天王寺舞楽をご鑑賞下さい。

毎月28日、昼2時OPEN!ふっかふっか

浄土和讃に聞く ④

◆光雲無碍如虚空

一切の有碍にさはりなし
光沢かぶらぬものぞなき
難思議を帰命せよ

『浄土和讃』(註釈版557頁)

外出する時、鍵をかけます。以前、空き巣に入られたことがあるからです。車から離れるときも、車上荒らしに会わないよう鍵をかけます。二十年ほど前、佐渡島に住んでいたとき、同じことをしたら笑われました。「ここでは誰も鍵をかけないよ」と。お前はここの人間を疑っているだろうと言われたようで、恥ずかしくなりました。佐渡島には、空き巣も車上荒らしもないのです。平気で嘘をつく人は、他人が真心から発した言葉を信じることができません。お金に執着する人には、誰もが地位や権力を利用して甘い汁を吸っているように見えます。私たちは、知らず知らずのうちに自分自身の本性を基準にして、他人を推しはかっているのです。親鸞聖人は「難思議」について「こころの及ばぬによりて難思議」と仰せられます。「わたしが仏になったとき、あらゆる人々が、まことの心で信じ喜び、わたしの国に生まれると思つて、たとえば十声念仏して、もし生まれることができないようなら、わたしは決してさとりを開くまい。ただし、五逆の罪を犯したり、正しい法を謗るものだけは除かれる」と。力強く喚びつづけてくださる阿弥陀仏の広く深い願いは、私たちがどれほど考えつくしても、到底、理解できるものではありません。▼輝く雲のようにひろがる阿弥陀仏の光は、まるで大空のように、どのような煩惱にもまたげられることがなく、その光のはたらきを受けないものはない。はかり知ることのできないはたらきをそなえた難思議に帰命するがよい。

石川欣也先生の
法話のダイヤル0743-53-4488

四月のご案内

〒567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL0725-33375 FAX0725-33375

明るく空から、ヒバリのさえずりが降ってきます。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成三十年四月のご案内を申し上げます。

第二百七十回

人生講座

日時 四月 八日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

青峰 龍 誓師



■青峰 (あおみね) 先生、四十八歳。滋賀県愛知郡愛荘町、願生寺副住職。法務の傍ら、介護施設職員として、「いのち」の現場で奮闘されています。勇ましいお名前からは想像できない、柔和な笑顔が素敵な温かい先生です。
■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。

●花まつりパレード、ご協力よろしく願います。

やわらかな春の日差しがふりそそぐ中、お釈迦さまのご誕生を祝う「花まつり」に先立って、「花まつりパレード」を行います。新しい命の誕生を喜び、健やかな成長を願う心は親ばかりではありません。この地域に住むすべての人々の共通の思いです。
パレードは、西福寺門徒総代・仏教婦人会役員の皆さんが先導し、子供たちが白ゾウを引きまわります。るんびに太鼓が笛・鉦・太鼓による楽を奏で、初参式受式者とその親族、住職と続きます。

コースは、西福寺から東太田児童遊園(通称ふね公園)を時計回りに周回する道路で、昼1時頃より約15分間の行程です。なお、雨天の場合は中止いたします。パレード実施中、コース周辺の皆様には大変ご迷惑おかけいたします。何卒、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

西福寺住職

4月7日は、「花まつり」です。

「花御堂」を飾り、甘茶をかけてお釈迦さまのご誕生を祝います。あなたも、お友達をさそって、お参りください。みんな、素直な、良い子になりますように！



■昼2時から法要(15分程度)。
夜7時まで、お参りできます。

■先着50名の方には粗供養を進呈。
※昼1時から花まつりパレード実施。
かわいいうしろの引き手を大募集！小学生対象。昼1時まで西福寺門前に集まってください(粗糞差し上げます)。

毎月28日、昼2時OPEN!ふふふ力F.L.

◆仏光照曜最第一

光炎王仏となづけたり
三塗の黒闇ひらくなり
大応供を帰命せよ

『浄土和讃』(註釈版558頁)

親鸞聖人は、「三塗」について「地獄・餓鬼・畜生」と註釈されました。それらはすべて、自らがなした悪業によって導かれ、おもむくところ。悪業とは、殺生(生き物をころす)、偷盗(ぬすみ)、邪淫(よこしまな性の交わり)、妄語(うそいつわり)、両舌(人を仲たがいさせる言葉)、悪口(ののしりの言葉)、綺語(まことのないかざった言葉)、貪欲(むさぼり・我欲)、瞋恚(いかり)、愚痴(おろかさ・真理に対する無知)の十種を指します。さらに、前三種を身に行う身業、中四種を口に言う口業、後三種を心に思う意業と区別します(浄土真宗辞典)。身業については、それが露見した場合、社会的に処罰の対象となります。しかし、口業では、軽蔑はされても処罰されることはまずありません。意業にいたっては、本人以外は知る由もありません。いずれにせよ、社会的に罰せられることはないが、苦の結果をまねくというのです。この暗き闇より抜け出すには、自ら犯した罪の深さに気づき、悔い改めるしかありません。

刑務所などで罪を悔い改める機会を与えられ、実際に悔い改めた者は、すでに暗き闇から抜け出しているといえます。むしろ、そのような処罰を受けたことがなく、自分は善人だと思ひ込んでいる人こそ、闇は深く救いがたいのかもしれない。阿弥陀仏のすぐれたみ光に照らされ、明らかとなる自身の心の闇から目をそらしてはいけません。

▼阿弥陀仏の光の輝きはもっともすぐれているから、光炎王仏と申しあげる。その光は、地獄や餓鬼や畜生という迷いの闇の世界を打ち破る。あらゆる供養を受けるにふさわしい大応供に帰命するがよい。

浄土和讃に聞く ⑥

三月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二
TEL072-533375 FAX072-533375
浄土真宗 本願寺派 西福寺

苦しんで苦しんで、苦しみぬいた末に遇うことのできる光と
いうものがあると感ずることがあります。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成三十年三月のご案内を申し上げます。

第二百六十九回

人生講座

日時 三月十一日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

長谷川毅正師

■長谷川(はせがわ)先生、六十二歳。大阪市西成区、西教寺
住職。工業大学卒業後、国内外のプラント建設に従事、中央仏
教学院・伝道院にて修学されました。九州男児の熱い語り口
で聞く人を惹きつけます。

■印刷機の不具合により、先月の寺報の一部に汚れや破損が
ありました。お申し出いただければ、新しいものをお届けし
ます。



初参式

昨年1年間(平成29年1月1日〜12月31日)にお生まれ
になったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健や
かな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。

と き：4月7日(土) 午後1時より

ところ：西福寺本堂ほか

受式冥加金：5000円

申込み締切：3月末日。

お問合わせ：西福寺(TEL072-6222-3725)

彼岸会寄席

桂文福一座 楽山



西福寺仏教婦人会3月の

例会は、彼岸会(ひがんえ)寄席です。今年
も文福一座の皆さまにお越しいただきませう。

吃音(きつおん)という障害を「お前の個
性や」と先代文枝師匠に励まされた恩を忘れ
ず、若手落語家や大相撲の力士たちに温かい
眼差しをもって関わり続けておられます。

その様子が「Eテレ」で全国放送され、大
きな反響を呼びました。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りい
ただけます。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、
お楽しみ下さい。

日時：3月18日(日) 午後2時〜3時半

場所：西福寺本堂

費用：千円(運営協力金として)

毎月28日、昼2時OPEN!ふっふかふい。



ご家族の皆さまも一緒にどうぞ。

石川欣也先生の

法話のダイヤル0743-53-4488

浄土和讃に聞く ⑤

◆清浄光明ならびなし

遇斯光のゆゑなれば

一切の業繋ものぞこりぬ

畢竟依に帰命せよ

『浄土和讃』(註釈版557頁)

フランスの首都、パリの中心部を流れるセーヌ川のほ
とりに「オルセー美術館」があります。マネやドガ、モ
ネ、ルノワール、ゴッホなど、日本でもなじみの深い印
象派の絵画が数多く展示されています。美術の教科書や
図録で何度も目にしたことのある作品ばかりですが、実
物の作品だけが持つ力強い光の輝きに圧倒されました。
そこには、画家自身の複雑な感情と煮えたぎる情熱が、
精神の大聖堂とも言える境地にまで高められ、作品に塗
り込められ、それぞれが唯一無二の光を放っています。
時に絵画のオークションで何億という値が付くこと
があります。中には有望な投資対象として、将来の利益
を見込んで買い求める人もいます。けれども、そ
の光に出会った人にとっては、もはやどれだけ大金をつ
ぎ込んで手に入れたかと思えてしまうものなのかも知
りません。

親鸞聖人は「遇斯光」について「弥陀仏に遇いぬるゆ
えに」と仰せられます。「必ず救う、決して見捨てぬ」と
誓われた阿弥陀仏より放たれた光に出会った者は、清ら
かな光のゆゑに一切のこだわりやわだかまりから解放
されます。その光の前では、それまで魅力的だったもの
も、おしなべて色あせて見えなくなります。「なぜ生きる」とい
う人生の究極の意味が、おのずと明らかになり、浄土に至
る道が開かれるのです。

▼阿弥陀仏の清らかな光に並ぶものはない。この光に出
会うことにより、迷いの世界につきまざる悪行も行
い、その地からがすべて失われる。究極のよりどころで
ある畢竟依に帰命するがよい。

五月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九-32
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL0743-534515 FAX0743-534517

雨上がりの空から差し込む光が、塵あくたを洗い流した大地に届き、いたるところできらきらと輝いています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十年五月のご案内を申し上げます。

永代経法要厳修

日時 五月十二日(土) 昼二時・夜七時

十三日(日) 朝十時

講師 元中央仏教学院々長

北畠晃融師

■永代経は、「亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり」伝えていくため「仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して(管純和師著「仏事の小箱」より)」いこうと願われる方々によって営まれる法要です。

■先月の寺報が、正常に届けられなかったところがあったようです。誠に申し訳ありませんでした。

●ぶっぷカフェ、好評営業中。

昨年6月より始まった「ぶっぷカフェ」。毎月28日昼2時よりオープン。西福寺本堂を開放しています。利用料は、100円。どなたでもご利用いただけます。

昼下がりのひととき、おいしいお茶とお菓子、そしておしゃべりでおくつろぎください。午後4時ごろ、懐かしい方を偲び、佛祖の加護に感謝する勤行(重誓偈)で、カフェは、閉店です。



毎月 28日 2時 OPEN 4時頃まで
 利用料 100円
(お茶とお菓子を各自持ち上げていただきます。)
 〒567-0012 茨木市東太田2-9-32 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL0743-534515

いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

永代経に向けて(お願い)

毎回、世話役の方々を中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します。

■5月11日(金)午後7時〜於西福寺本堂
 おかざり(供物をそなえます)



毎月28日、昼2時OPEN!ぶっぷカフェ。

花まつりパレード

ご協力、有難うございました

4月7日(土) 昼1時より

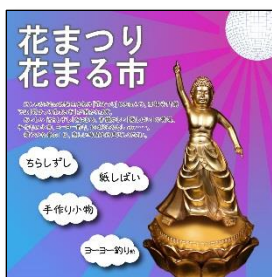


やわらかな春の日差しがふりそそぐ中、お釈迦さまのご誕生を祝い、初参式をお迎えになつたお子さまの健やかな成長を願って、パレードを行いました。

西福寺門徒総代・仏教婦人会役員の皆さまが先導し、地域の子どもたちが白ゾウを引きました。るんびに太鼓が太鼓・笛・鉦による楽を奏で、西福寺周辺を歩きました。西福寺に帰着した後、花御堂の前で記念撮影。昔懐かしい紙芝居を楽しく拝見しました。2時からの法要では、讃佛偈を勤め、住職法話に続き、准仏(誕生仏に甘茶を注ぎます)を行いました。門前では、「花まる市」を開催。仏教婦人会の皆さまによる「ちらしずし」の販売は、売り出しとほぼ同時に売り切れる盛況ぶりでした。

当日は、周辺住民の皆さまの多大なるご理解とご協力を賜りまして、滞りなく執り行うことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

西福寺住職



六月のご案内

T567-0012

茨木市東太田二丁目九一三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL 0726-2375 FAX 0726-2379

夜空に夏の星座が見られるようになってきました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成三十年六月のご案内を申し上げます。

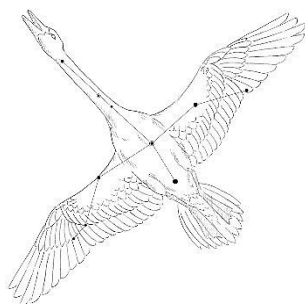
第二百七十一回

人生講座

日時 六月十日(日) 昼二時～四時
講師 本願寺名誉侍真・本願寺派布教使

近松 真定 師

■近松(ちかまつ)先生、四十歳。八尾市久宝寺御坊、顕証寺住職。顕証寺は、浄土真宗中興の祖として知られる第八代宗主蓮如上人が開基で、歴代住職は本願寺を護持する重責を担ってこられました。常にまっすぐ宗祖・親鸞聖人を見つめられ、行動される謙虚で清々しい先生です。
■お誘いあわせの上、こぞってお参り下さい。



中央仏教学院 通信教育生募集 (開講9月1日 募集期間4月～6月)

中央仏教学院の通信教育は、すべての人が心豊かに生きるために開かれた教育制度です。私たちは、そのためのお手伝いをさせていただきます。95年の歴史を持つ本学院は、1972年に通信教育を発足させ、多くの人々に心豊かな人生を約束してまいりました。その数およそ3万6千人に及びます。この方々はみな親鸞聖人のみ教えを学んでいます。仏教の初歩から学ぶ入門課程、より深く体系的に学ぶ学習課程、そして僧侶としての道に進むための専修課程、三つの課程で親鸞聖人のみ教えを学び、あなたの願いに応えます。これから社会の荒波に立ち向かうあなた、情報過多な時代にとまどうあなた、そして、「断捨離」を考えるようになったあなた。さあ、あなたも今から私たちと親鸞聖人のみ教えを学び、厳しい現実の中で本物の豊かな人生を歩んでみましょう。

西福寺仏教婦人会総会

西福寺仏教婦人会は、親鸞聖人のみ教えに導かれて、すべての人びとの幸せを願われる阿彌陀如来のお心をいただき、自他ともに心豊かに生きることが出来る社会をめざし、ともに歩みを進める女性のための会です。

京都・西本願寺での念仏奉仕団や当山報恩講など、女性ならではの細やかな心配りで、宗門と当山の護持発展にご尽力いただいています。また、彼岸会寄席やコンサート、研修旅行など楽しい行事もございます。左記の通り、総会を開催いたします。会員の皆さま、ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

日時：6月13日(水)午前11時
場所：西福寺本堂
※総会終了後、引き続き懇親会。軽食をご用意いたします。

毎月28日、昼2時OPEN!ふろかふり。



浄土和讃に聞く ⑦

◆道光明朗超絶せり

清浄光仏とまうすなり
ひとたび光照かぶるもの
業垢をのぞき解脱をう

『浄土和讃』(註釈版558頁)

曇鸞大師は「讚阿彌陀仏偈」で「道光明朗にして、色超絶したまえり。ゆえに仏をまた清浄光と号けたてまつる。一たび光照を蒙れば、罪垢除こりてみな解脱を得」と阿彌陀仏を讚えられます。このご文をほぼそのままにただかかれた和讃ですが、「私たちの罪障りを除去し悟りに至らしめるので、阿彌陀仏を清浄光仏と言う」とするのは、論理的過ぎます。論理とは、どこまでも人知を規定していくものです。仏智は人知を越えた世界なので、論理で捉えることはできない。明朗にして超絶しているとした言い方が無いのです。超絶とは医者が匙を投げるような表現でしょう。明朗という表現こそが、阿彌陀仏の本願に出会った者の身の上に見える有り様と言えましょう。

親鸞聖人の周りにも明朗さを持った方々がいらっしやう。法然聖人はもちろん、聖覚法印、信空上人、そして沙弥法力こと熊谷直実。罪障りは取り除きようが無いほど根深く重い。地獄必定と思ひ定めた、この私を阿彌陀仏は必ず救うと誓われた。見捨てはせぬと願われた。因果応報という論理は音を立てて崩れ去り、どのような境涯も浄土往生の妨げにはならないという絶対の安心が、その人をして明朗たらしめているのです。想像を絶する厳しい人生を生きてきて、なお明朗さを失わない人との出会いが、この私を仏縁に導いてくださいます。親鸞聖人は「道光明朗超絶といふは阿彌陀如来なり」と言い切られています。

▼阿彌陀仏のさとり光は明るく輝き、すべてに超えすぐれて清らかであるから、清浄光仏と申しあげる。ひとたびこの光に照らされたものは、悪い行いの罪や煩惱が除かれ、みなさとりを開くのである。

石川欣也先生の
法話のダイヤル 0743-53-4488